正誤表(12)

工事件名） 道東自動車道　新得工事

修正箇所		正誤区分

特記仕様書 30－2－5構造物掘削

誤

単価表の項目	工法	支保形式	鋼矢板規格	数量（枚）	矢板長さ（m）	継杭箇所	備考
構造物掘削 特殊部　B	硬質地盤クリア	切ばり式（グラウンドアンカー含む）	普通鋼矢板Ⅳ型	4	17.5	1箇所	中古材 土留め壁は残置（支保工は撤去）一部は切断
				4	18.0	1箇所	
				4	21.0	1箇所	
				21	18.0	－	
				4	21.0	1箇所	
				31	21.0	－	
構造物掘削 特殊部　C	硬質地盤クリア	自立式（腹起し含む）	普通鋼矢板Ⅲ型	170	8.5	－	中古材 土留め壁は残置（腹起しは撤去）
構造物掘削 特殊部　D	ゼロクリアランス（オーガ併用圧入）	自立式	NS-SP-J	1	7.5	－	新材 土留め工は残置、一部は切断
				5	9.5	1箇所	
				2	9.5	－	
				5	12.5	1箇所	
				1	12.5	－	
				5	15.5	1箇所	
				1	15.5	－	
				5	18.0	1箇所	
				8	18.5	－	
	硬質地盤クリア	切ばり式（グラウンドアンカー含む）	普通鋼矢板Ⅳ型	9	14.0	－	中古材 土留め工は施工段階に応じて順次撤去
				4	17.0	1箇所	
				8	17.5	－	
				4	19.5	1箇所	
				9	19.5	－	
				8	19.5	－	

(4) 土留め工の材料及び施工

土留め工に使用する材料は設計図書に示すものの他、土工施工管理要領に記載されている内容に適合するものでなくてはならない。

また、施工は開削工法編の関連する項目に記載の内容をよく理解し、現地の条件や築造する橋梁下部工の施工方法との関連を考慮して、工程の各段階において十分に安全が保たれるような施工計画を立案し、これに基づいて安全に施工しなければならない。

(5) グラウンドアンカー工

1) グラウンドアンカー工に適用すべき諸基準

東日本高速道路㈱　　グラウンドアンカー設計・施工要領（平成１９年８月）

（社）地盤工学会　　グラウンドアンカー設計・施工基準 同解説

（ＪＧＳ４１０１－２０１２）

2) 材料及び施工

イ) グラウンドアンカー工に使用する材料及び施工は、「グラウンドアンカー設計・施工要領」及び「グラウンドアンカー設計施工基準 同解説」によるものとする。

－32－

正

単価表の項目	工法	支保形式	鋼矢板規格	数量（枚）	矢板長さ（m）	継杭箇所	備考
構造物掘削 特殊部　B	硬質地盤クリア	切ばり式（グラウンドアンカー含む）	普通鋼矢板Ⅳ型	4	18.0	1箇所	中古材 土留め壁は残置（支保工は撤去）一部は切断
				21	18.0	3箇所	
				3	21.0	1箇所	
				4	21.0	2箇所	
				4	21.0	3箇所	
				29	21.0	9箇所	
構造物掘削 特殊部　C	硬質地盤専用圧入機	自立式（腹起し含む）	普通鋼矢板Ⅲ型	170	8.5		中古材 土留め壁は残置（腹起しは撤去）
構造物掘削 特殊部　D	ゼロクリアランス（オーガ併用圧入）	自立式	NS-SP-J	1	7.5	－	新材 土留め工は残置、一部は切断
				7	9.5	－	
				6	12.5	－	
				1	15.5	1箇所	
				5	15.5	－	
				5	18.0	1箇所	
				8	18.5	1箇所	
	硬質地盤クリア	切ばり式（グラウンドアンカー含む）	普通鋼矢板Ⅳ型	9	14.0	－	リース材 土留め工は施工段階に応じて順次撤去
				4	17.0	－	
				8	17.5	1箇所	
				17	19.5	1箇所	
				4	19.5	1箇所	

(4) 土留め工の材料及び施工

土留め工に使用する材料は設計図書に示すものの他、土工施工管理要領に記載されている内容に適合するものでなくてはならない。

また、施工は開削工法編の関連する項目に記載の内容をよく理解し、現地の条件や築造する橋梁下部工の施工方法との関連を考慮して、工程の各段階において十分に安全が保たれるような施工計画を立案し、これに基づいて安全に施工しなければならない。

(5) グラウンドアンカー工

1) グラウンドアンカー工に適用すべき諸基準

東日本高速道路㈱　　グラウンドアンカー設計・施工要領（平成１９年８月）

（社）地盤工学会　　グラウンドアンカー設計・施工基準 同解説

（ＪＧＳ４１０１－２０１２）

2) 材料及び施工

イ) グラウンドアンカー工に使用する材料及び施工は、「グラウンドアンカー設計・施工要領」及び「グラウンドアンカー設計施工基準 同解説」によるものとする。

ロ) グラウンドアンカー削孔の濁水処理は関係法令に従って濁水処理を行うものとし、施工に先立ち、施工計画書を提出するものとする。

ハ) グラウンドアンカー工の削孔中に設計図書において想定している地質と現地の地質の相

－32－

正誤表(13)

工事件名） 道東自動車道　新得工事

<table>
<tr><th colspan="2">修正箇所</th><th>正誤区分</th></tr>
<tr><td rowspan="2">特記仕様書
30－6－3長尺鋼管先受工</td><td>誤</td><td>
とのないようにしなければならない。
また、注入方法及び注入管理の基準については次のとおりとする。
<table>
<tr><th>打設管の種別</th><th>注入速度</th><th>注入完了時の注入量又は注入圧</th></tr>
<tr><td>先行打設管
（奇数管）</td><td rowspan="2">5 ℓ／min</td><td>注入圧（初期圧+2.5MPa）もしくは、設計注入量まで注入
設計注入量：注入工A：585 ℓ／本
設計注入量：注入工B：770 ℓ／本</td></tr>
<tr><td>後行打設管
（偶数管）</td><td>注入圧（初期圧+0.5MPa）の場合は設計注入量の２倍
注入圧（初期圧+0.5～2.5MPa）の場合は設計注入量まで
注入圧（初期圧+2.5Mpa）の場合は注入完了
設計注入量：注入工A：585 ℓ／本
設計注入量：注入工B：770 ℓ／本</td></tr>
</table>
(6) 数量の検測
長尺鋼管先受工の数量の検測は打設工については設計数量（本）で行い、注入工については注入量の仕上り数量（ℓ）で行うものとする。
(7) 支払
長尺鋼管先受工の打設工の支払いは、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ１本当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う注入管（鋼管）の打設の位置出し、注入管（鋼管）の打設、戻り削孔水の排水処理等長尺鋼管先受工の打設工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。
長尺鋼管先受工の注入工の支払いは、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ１ℓ当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う口元のコーキング、注入材の注入、注入量の管理等注入工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。
<table>
<tr><th></th><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr>
<tr><td>特－(4)</td><td>長尺鋼管先受工</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>打設工A（L＝９．５m）</td><td>本</td></tr>
<tr><td></td><td>打設工B（L＝１２．５m）</td><td>本</td></tr>
<tr><td></td><td>注入工A（L＝９．５m）</td><td>ℓ</td></tr>
<tr><td></td><td>注入工B（L＝１２．５m）</td><td>ℓ</td></tr>
</table>
３０-６-４ ずり処理工
(1) 種別
ずり処理工の単価表の項目の種別は共通仕様書１２－９－１に示すものの他、以下のとおりとする。
ずり処理工A１　：トンネル掘削により生じたずりの掘削切羽から本線盛土箇所（路体及
－42－
</td></tr>
<tr><td>正</td><td>
とのないようにしなければならない。
また、注入方法及び注入管理の基準については次のとおりとする。
<table>
<tr><th>打設管の種別</th><th>注入速度</th><th>注入完了時の注入量又は注入圧</th></tr>
<tr><td>先行打設管
（奇数管）</td><td rowspan="2">15 ℓ／min</td><td>注入圧（初期圧+2.5MPa）もしくは、設計注入量まで注入
設計注入量：注入工A：585 ℓ／本
設計注入量：注入工B：770 ℓ／本</td></tr>
<tr><td>後行打設管
（偶数管）</td><td>注入圧（初期圧+0.5MPa）の場合は設計注入量の２倍
注入圧（初期圧+0.5～2.5MPa）の場合は設計注入量まで
注入圧（初期圧+2.5Mpa）の場合は注入完了
設計注入量：注入工A：585 ℓ／本
設計注入量：注入工B：770 ℓ／本</td></tr>
</table>
(6) 数量の検測
長尺鋼管先受工の数量の検測は打設工については設計数量（本）で行い、注入工については注入量の仕上り数量（ℓ）で行うものとする。
(7) 支払
長尺鋼管先受工の打設工の支払いは、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ１本当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う注入管（鋼管）の打設の位置出し、注入管（鋼管）の打設、戻り削孔水の排水処理等長尺鋼管先受工の打設工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。
長尺鋼管先受工の注入工の支払いは、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ１ℓ当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う口元のコーキング、注入材の注入、注入量の管理等注入工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。
<table>
<tr><th></th><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr>
<tr><td>特－(4)</td><td>長尺鋼管先受工</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>打設工A（L＝９．５m）</td><td>本</td></tr>
<tr><td></td><td>打設工B（L＝１２．５m）</td><td>本</td></tr>
<tr><td></td><td>注入工A（L＝９．５m）</td><td>ℓ</td></tr>
<tr><td></td><td>注入工B（L＝１２．５m）</td><td>ℓ</td></tr>
</table>
３０-６-４ ずり処理工
(1) 種別
ずり処理工の単価表の項目の種別は共通仕様書１２－９－１に示すものの他、以下のとおりとする。
ずり処理工A１　：トンネル掘削により生じたずりの掘削切羽から本線盛土箇所（路体及
－42－
</td></tr>
</table>

正誤表(14)

工事件名） 道東自動車道　新得工事

修正箇所		正誤区分
特記仕様書 30－8－6仮 設構造物工	誤	(3) 材料 仮設構造物工に使用する材料は設計図書に示すものの他、中古品の購入材とし各部材の規格は次のとおりとする。 (4) 施工 支持杭及び土留め杭の施工方法は下表に示すとおりとする。 なお、受注者の責に帰さない理由により、監督員が必要と認め上記の工法の変更を指示した場合、受注者はこれに従うものとし、これに要する費用は監督員と受注者とで協議し定めるものとする。 (5) 数量の検測 仮設構造物工の数量の検測は、設計数量（式）で行うものとする。 (6) 支払 仮設構造物工の支払は前項の規定に従って検測された数量に対し、１式当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う仮桟橋の材料の調達、設置、支持杭の打設、土留め工の施工、仮桟橋使用期間中の点検及び保守等仮桟橋の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。 単価表の項目　検測の単位 特－(12)　仮設構造物工 仮桟橋設置　A　式 －50－
	正	(3) 材料 仮設構造物工に使用する材料は設計図書に示すものの他、中古品の購入材とし各部材の規格は次のとおりとする。 (4) 施工 支持杭及び土留め杭の施工方法は下表に示すとおりとする。 なお、受注者の責に帰さない理由により、監督員が必要と認め上記の工法の変更を指示した場合、受注者はこれに従うものとし、これに要する費用は監督員と受注者とで協議し定めるものとする。 (5) 数量の検測 仮設構造物工の数量の検測は、設計数量（式）で行うものとする。 (6) 支払 仮設構造物工の支払は前項の規定に従って検測された数量に対し、１式当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う仮桟橋の材料の調達、設置、支持杭の打設、土留め工の施工、仮桟橋使用期間中の点検及び保守等仮桟橋の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。 単価表の項目　検測の単位 特－(12)　仮設構造物工 仮桟橋設置　A　式 －50－

誤

(3) 材料

仮設構造物工に使用する材料は設計図書に示すものの他、中古品の購入材とし各部材の規格は次のとおりとする。

項目		材質	適用するＪＩＳ規格等
上部工	覆工板	SM490	JIS G 3106
	鋼桁部材	SM490, SS400 他	JIS G 3106, JIS G 3101 他
	地覆，手摺，敷鉄板	SS400	JIS G 3101
	ボルト	S10T, F10T 他	JSS Ⅱ 09，JIS B 1186 他
下部工	受桁，桁受，転倒防止材 継材，プレス材	SS400	JIS G 3101
	ボルト	F10T	JIS B 1186
支持杭	鋼管杭	SKK400	JIS A 5525
	支持杭，継材，H鋼継手PL	SS400	JIS G 3101
	鋼管杭部品	SS400他	JIS G 3101 他
	H鋼継手ボルト	S10T	JIS B 1186
土留め	踏掛桁，土留め杭，プレート	SS400	JIS G 3101
	ボルト	F10T	JIS B 1186

(4) 施工

支持杭及び土留め杭の施工方法は下表に示すとおりとする。

施工箇所	工法	部材名
ＫＡ１，ＫＡ２．	ウォータージェット併用 バイブロハンマ	鋼管杭φ609.6 t=6mm
ＫＰ１，ＫＰ２	ダウンザホール	H400×400×13×21
土留め杭（ＫＡ１及びＫＡ２）	電動式バイブロハンマ	H350×350×12×19

なお、受注者の責に帰さない理由により、監督員が必要と認め上記の工法の変更を指示した場合、受注者はこれに従うものとし、これに要する費用は監督員と受注者とで協議し定めるものとする。

(5) 数量の検測

仮設構造物工の数量の検測は、設計数量（式）で行うものとする。

(6) 支払

仮設構造物工の支払は前項の規定に従って検測された数量に対し、１式当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う仮桟橋の材料の調達、設置、支持杭の打設、土留め工の施工、仮桟橋使用期間中の点検及び保守等仮桟橋の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

	単価表の項目	検測の単位
特－(12)	仮設構造物工	
	仮桟橋設置　A	式

－50－

正

(3) 材料

仮設構造物工に使用する材料は設計図書に示すものの他、中古品の購入材とし各部材の規格は次のとおりとする。

項目		材質	適用するＪＩＳ規格等
上部工	覆工板	SM490	JIS G 3106
	鋼桁部材	SM490, SS400 他	JIS G 3106, JIS G 3101 他
	地覆，手摺，敷鉄板	SS400	JIS G 3101
	ボルト	S10T, F10T 他	JSS Ⅱ 09，JIS B 1186 他
下部工	受桁，桁受，転倒防止材 継材，プレス材	SS400	JIS G 3101
	ボルト	F10T	JIS B 1186
支持杭	鋼管杭	SKK400	JIS A 5525
	支持杭，継材，H鋼継手PL	SS400	JIS G 3101
	鋼管杭部品	SS400他	JIS G 3101 他
	H鋼継手ボルト	S10T	JIS B 1186
土留め	踏掛桁，土留め杭，プレート	SS400	JIS G 3101
	ボルト	F10T	JIS B 1186

(4) 施工

支持杭及び土留め杭の施工方法は下表に示すとおりとする。

施工箇所	工法	部材名
ＫＡ１，ＫＡ２，ＫＰ３	ウォータージェット併用 バイブロハンマ	鋼管杭φ609.6 t=6mm
ＫＰ１，ＫＰ２	ダウンザホール	H400×400×13×21
土留め杭（ＫＡ１及びＫＡ２）	電動式バイブロハンマ	H350×350×12×19

なお、受注者の責に帰さない理由により、監督員が必要と認め上記の工法の変更を指示した場合、受注者はこれに従うものとし、これに要する費用は監督員と受注者とで協議し定めるものとする。

(5) 数量の検測

仮設構造物工の数量の検測は、設計数量（式）で行うものとする。

(6) 支払

仮設構造物工の支払は前項の規定に従って検測された数量に対し、１式当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う仮桟橋の材料の調達、設置、支持杭の打設、土留め工の施工、仮桟橋使用期間中の点検及び保守等仮桟橋の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

	単価表の項目	検測の単位
特－(12)	仮設構造物工	
	仮桟橋設置　A	式

－50－

正誤表(15)

工事件名） 道東自動車道　新得工事

<table>
<tr><th>修正箇所</th><th colspan="2">正誤区分</th></tr>
<tr><td rowspan="2">特記仕様書
31. 割掛対象表の項目に示す工事の内容</td><td>誤</td><td>
<table>
<tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th></tr>
<tr><td colspan="2">【共通仮設費】</td></tr>
<tr><td>工事用機械運搬費
（トンネル工）</td><td>トンネル工で使用する質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。</td></tr>
<tr><td>工事用機械分解組立費
（土工）</td><td>本線部道路掘削、客土掘削及び盛土工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td></tr>
<tr><td>工事用機械分解組立費
（橋梁下部工）</td><td>橋梁下部工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td></tr>
<tr><td>工事用機械分解組立費
（トンネル工）</td><td>トンネル工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td></tr>
<tr><td>基準試験費</td><td>トンネル施工管理要領に基づいて行う中流動繊維補強覆工コンクリートの配合を決定するための基準試験に要する全ての費用をいう。</td></tr>
<tr><td colspan="2">【準備工事費】</td></tr>
<tr><td>工事用進入路設置撤去費</td><td>本線内軽量盛土部へ工事用資材の搬入及び施工のための進入路を設け、施工完了後に再び原形に復旧するのに要する費用をいう。</td></tr>
<tr><td colspan="2">【仮設備工事費】</td></tr>
<tr><td>足場工費（基礎杭）</td><td>一般構造物の施工に必要な足場工に要する費用をいう。</td></tr>
<tr><td>足場工費（下部工）</td><td>橋梁下部工構造物の施工に必要な足場工に要する費用をいう。</td></tr>
<tr><td>足場工費（擁壁工）</td><td>擁壁工構造物の施工に必要な足場工に要する費用をいう。</td></tr>
<tr><td>足場工費（トンネル工）</td><td>トンネル構造物の施工に必要な足場工に要する費用をいう。</td></tr>
<tr><td>支保工費（トンネル工）</td><td>トンネル坑門工施工時、所定の形状のコンクリート構造物に仕上げるための、仮設の支保構造物に要する費用をいう。</td></tr>
<tr><td>プラント冬季養生費</td><td>トンネル用吹付けプラント設備の冬季養生に要する費用をいう。</td></tr>
<tr><td>汚濁水処理設備冬季養生費</td><td>トンネル用汚濁水処理設備の冬季養生に要する費用</td></tr>
<tr><td>インバート仮桟橋</td><td>トンネル内インバート打設箇所を通行できるように設置する移動式仮設桟橋をいう。</td></tr>
<tr><td>橋梁下部工施工ヤード造成費</td><td>橋梁下部工を施工するために本線のり面を掘削、盛土し、施工ヤードを造成する費用をいう。</td></tr>
<tr><td colspan="2">【雑工事費】</td></tr>
<tr><td>仮設防護工費</td><td>避難連絡抗施工時に音の低減、掘削土砂等の1期線への飛散を防止するために、1期線側避難連絡抗坑口付近に設置する仮設壁に要する費用をいう。</td></tr>
<tr><td>鏡吹付けコンクリートA1</td><td>トンネル掘削における鏡面に対して吹付けコンクリート(t＝2.5cm)を吹き付ける費用をいう。</td></tr>
<tr><td>鏡吹付けコンクリートA2</td><td>トンネル掘削における鏡面に対して吹付けコンクリート(t＝4cm)を吹き付ける費用をいう。</td></tr>
<tr><td>鏡吹付けコンクリートA3</td><td>トンネル掘削における鏡面に対して吹付けコンクリート(t＝10cm)を吹き付ける費用をいう。</td></tr>
<tr><td>鏡吹付けコンクリートB1</td><td>トンネル掘削における鏡面に対して吹付けコンクリート(t＝3cm)を吹き付ける費用をいう。</td></tr>
<tr><td>有料道路料金費</td><td>交通規制工の施工において必要となる道東自動車道の通行料金の費用をいう(消費税相当額を除く)。
仮設防護柵工及び仮設目隠板工等の施工において必要となるトマムIC～十勝清水IC間(往復)の通行料金の費用をいう。</td></tr>
</table>

</td></tr>
<tr><td>正</td><td>
<table>
<tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th></tr>
<tr><td colspan="2">【共通仮設費】</td></tr>
<tr><td>工事用機械運搬費
（トンネル工）</td><td>トンネル工で使用する質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。</td></tr>
<tr><td>工事用機械分解組立費
（土工）</td><td>本線部道路掘削、客土掘削及び盛土工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td></tr>
<tr><td>工事用機械分解組立費
（橋梁下部工）</td><td>橋梁下部工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td></tr>
<tr><td>工事用機械分解組立費
（トンネル工）</td><td>トンネル工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td></tr>
<tr><td>基準試験費</td><td>トンネル施工管理要領に基づいて行う中流動繊維補強覆工コンクリートの配合を決定するための基準試験に要する全ての費用をいう。</td></tr>
<tr><td colspan="2">【準備工事費】</td></tr>
<tr><td>工事用進入路設置撤去費</td><td>本線内軽量盛土部へ工事用資材の搬入及び施工のための進入路を設け、施工完了後に再び原形に復旧するのに要する費用をいう。</td></tr>
<tr><td colspan="2">【仮設備工事費】</td></tr>
<tr><td>足場工費（基礎杭）</td><td>一般構造物の施工に必要な足場工に要する費用をいう。</td></tr>
<tr><td>足場工費（下部工）</td><td>橋梁下部工構造物の施工に必要な足場工に要する費用をいう。</td></tr>
<tr><td>足場工費（擁壁工）</td><td>擁壁工構造物の施工に必要な足場工に要する費用をいう。</td></tr>
<tr><td>足場工費（トンネル工）</td><td>トンネル構造物の施工に必要な足場工に要する費用をいう。</td></tr>
<tr><td>支保工費（トンネル工）</td><td>トンネル坑門工施工時、所定の形状のコンクリート構造物に仕上げるための、仮設の支保構造物に要する費用をいう。</td></tr>
<tr><td>プラント冬季養生費</td><td>トンネル用吹付けプラント設備の冬季養生に要する費用をいう。</td></tr>
<tr><td>汚濁水処理設備冬季養生費</td><td>トンネル用汚濁水処理設備の冬季養生に要する費用</td></tr>
<tr><td>インバート仮桟橋</td><td>トンネル内インバート打設箇所を通行できるように設置する移動式仮設桟橋をいう。</td></tr>
<tr><td>橋梁下部工施工ヤード造成費</td><td>橋梁下部工を施工するために本線のり面を掘削、盛土し、施工ヤードを造成する費用をいう。</td></tr>
<tr><td colspan="2">【雑工事費】</td></tr>
<tr><td>仮設防護工費</td><td>避難連絡抗施工時に音の低減、掘削土砂等の1期線への飛散を防止するために、1期線側避難連絡抗坑口付近に設置する仮設壁に要する費用をいう。</td></tr>
<tr><td>鏡吹付けコンクリートA1</td><td>トンネル掘削における鏡面に対して吹付けコンクリート(t＝2.5cm)を吹き付ける費用をいう。</td></tr>
<tr><td>鏡吹付けコンクリートA2</td><td>トンネル掘削における鏡面に対して吹付けコンクリート(t＝4cm)を吹き付ける費用をいう。</td></tr>
<tr><td>鏡吹付けコンクリートA3</td><td>トンネル掘削における鏡面に対して吹付けコンクリート(t＝10cm)を吹き付ける費用をいう。</td></tr>
<tr><td>鏡吹付けコンクリートB1</td><td>トンネル掘削における鏡面に対して吹付けコンクリート(t＝3cm)を吹き付ける費用をいう。</td></tr>
<tr><td>有料道路料金費</td><td>交通規制工の施工において必要となる道東自動車道の通行料金の費用をいう(消費税相当額を除く)。
仮設防護柵工及び仮設目隠板工等の施工において必要となるトマムIC～十勝清水IC間(片道)の通行料金の費用をいう。</td></tr>
</table>

</td></tr>
</table>

正誤表(16)

工事件名） 道東自動車道　新得工事

修正箇所		正誤区分
設計図 橋梁下部工 （広内川橋） （1/108）	誤	1／108 数 量 総 括 表 （下記参照）
	正	1／108 数 量 総 括 表 （下記参照）

誤

1／108

数 量 総 括 表

項 目	種 別		規格	A-1橋台	P-1橋脚	P-2橋脚	P-3橋脚	A-2橋台	合 計	適 要
橋梁物図例	普通部		m3	801.0	----	1134.7	1348.8	2440.5	7323.0	
	特殊部A		m3	----	1656.2	----	----	----	1656.2	
基 礎 材	B1		m3	17.2	19.1	19.1	37.0	43.3	135.7	
基 礎 杭	場所打ちコンクリート杭（機械掘削、φ1.200）		m	234.0	----	----	187.5	----	421.5	
	場所打ちコンクリート杭（人力掘削、φ4.000）		m	----	60.0	60.0	----	----	120.0	
	埋設ライナープレート（φ4.000,t=2.7）		m	----	60.0	60.0	----	----	120.0	
	裏込めグラウト		m3	----	116.0	116.0	----	----	232.0	
コンクリート	A1-3		m3	697.0	1299.7	1177.2	967.2	1474.2	5433.3	σck=30N/mm2
	B2-1		m3	----	----	----	----	----	----	
	D1-1		m3	8.6	9.6	9.6	18.5	21.7	68.0	σck=18N/mm2
型 枠	C		m2	582.3	1257.0	1174.1	755.2	986.2	4775.8	
	D		m2	4.0	5.0	5.0	5.8	6.1	26.5	
	R		m2	----	13.1	13.1	13.1	----	39.3	
鉄 筋	A	D13	t	0.202	----	----	----	0.012	0.214	SD345 重ね継手
		D16～D25	t	8.671	133.293	129.832	61.772	12.010	345.578	〃 〃
		D29～D32	t	11.354	----	----	----	6.008	17.362	〃 〃
		D35	t	----	----	----	----	5.084	5.084	〃 〃
		D41	t	----	----	----	----	----	----	〃 〃
		計	t	20.427	133.293	129.832	61.772	23.114	368.438	〃 〃
	A1	D13	t	0.609	----	----	----	1.503	2.112	〃 〃
		D16～D25	t	13.525	0.411	0.411	0.520	14.574	29.441	〃 〃
		D29～D32	t	----	----	----	----	0.264	0.264	〃 〃
		D35	t	----	----	----	----	11.044	11.044	〃 〃
		計	t	14.134	0.411	0.411	0.520	27.385	42.861	〃 〃
	A2	D16～D25	t	----	0.112	0.112	----	----	0.224	SD490 重ね継手
		D29～D32	t	----	0.400	0.400	----	----	0.800	〃 〃
		D35	t	7.338	----	----	----	----	7.338	〃 〃
		D38	t	----	3.813	3.813	----	----	7.626	〃 〃
		計	t	7.338	4.325	4.325	----	----	15.988	〃 〃
	B	D16～D25	t	----	----	----	----	6.894 (140)	6.894 (140)	SD345 ﾒｶｴﾝ接 かっこ内は継手箇所
		D29～D32	t	1.290 (20)	----	----	----	5.712 (73)	7.002 (93)	〃 〃 〃
		D38	t					13.626 (178)	13.626 (178)	〃 〃 〃
		D41	t	----	----	----	----	12.879 (88)	12.879 (88)	〃 〃 〃
		計	t	1.290 (20)	----	----	----	39.111 (402)	40.401 (422)	〃 〃 〃
	B2	D16～D25	t	----	1.648 (41)	1.648 (41)	----	----	3.296 (82)	SD490 ﾒｶｴﾝ接 かっこ内は継手箇所
		D29～D32	t	----	8.586 (90)	8.586 (90)	13.341 (152)	----	30.513 (332)	〃 〃 〃
		D35	t	----	96.535 (898)	109.505 (1062)	7.436 (52)	10.203 (107)	223.781 (2119)	〃 〃 〃
		D38	t	----	17.595 (112)	17.595 (112)	66.474 (402)	----	101.664 (626)	〃 〃 〃
		D41	t	----	129.832 【672】	129.832 【672】	18.920 (100)	----	278.464 (1600)【1344】	〃 〃 〃
		計	t	----	256.297 (1741)【672】	267.167 (1300)【672】	107.071 (706)	10.203 (107)	640.738(3247)【1344】	SD490 機械式継手 かっこ内は継手箇所
	C	D16～D25	t	----	5.480 (2168)	4.941 (2594)	2.657 (1536)	----	13.078 (7298)	SD345 機械式鉄筋定着
		計	t	----	5.480 (2168)	4.941 (2594)	2.657 (1536)	----	13.078 (7298)	〃 〃
	Y	D13	t	0.132	----	----	0.275	----	0.407	SD345 重ね継手
		D16～D25	t	11.904	----	----	7.050	----	18.954	〃 〃
		D29～D32	t	13.788	----	----	----	----	13.788	〃 〃
		D41	t	----	----	----	52.425	----	52.425	〃 〃
		計	t	25.824	----	----	59.750	----	85.574	〃 〃

注）（ ）：ガス圧接継手を示す。
【 】：機械式継手を示す。
［ ］：機械式定着体を示す。

道東自動車道 新得工事	
図面の種類	数量総括表 広内川橋（下り線）
縮尺	図番 1／108
設計事務所名	中日コンサルタント株式会社
施工会社名	
事業所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所

正

1／108

数 量 総 括 表

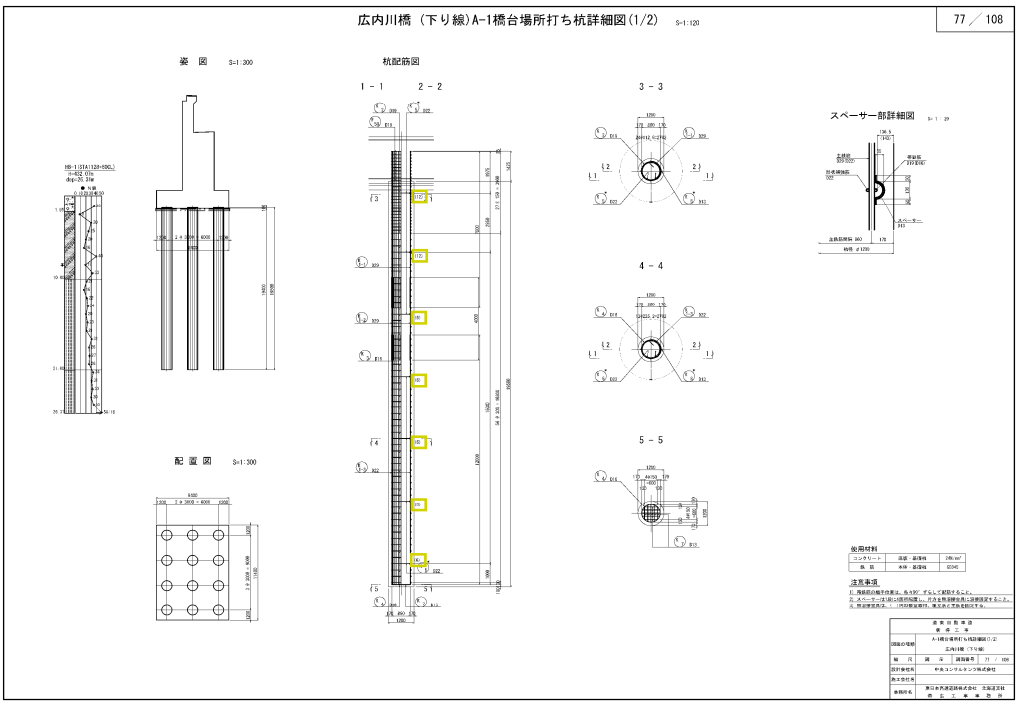
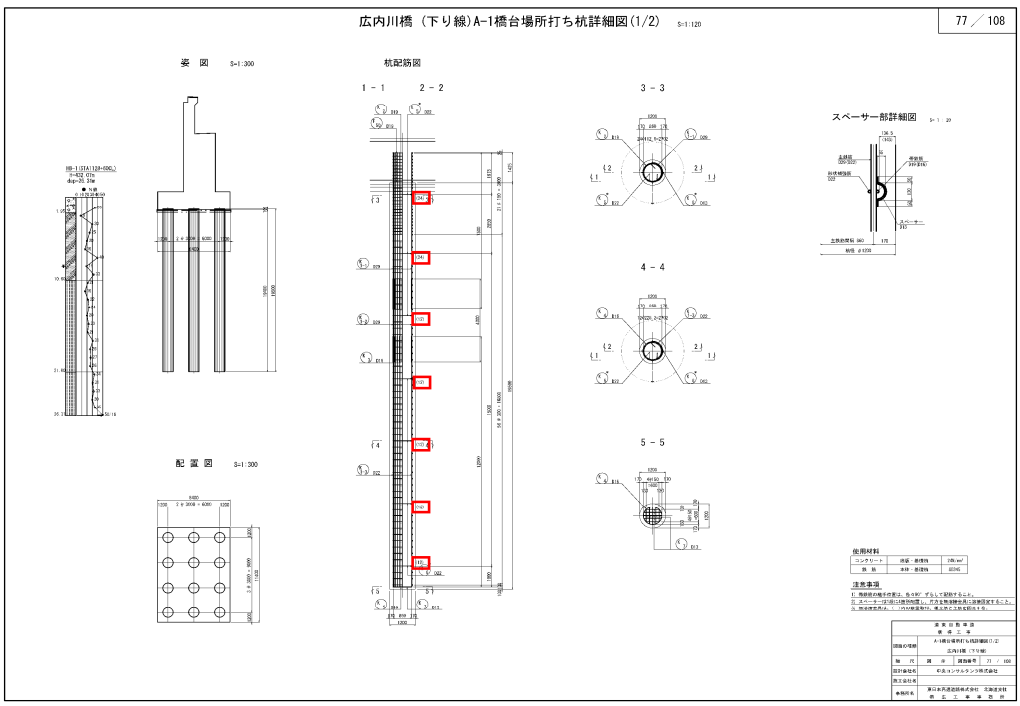
項 目	種 別		規格	A-1橋台	P-1橋脚	P-2橋脚	P-3橋脚	A-2橋台	合 計	適 要
橋梁物図例	普通部		m3	801.0	----	1134.7	1348.8	2440.5	7323.0	
	特殊部A		m3	----	1656.2	----	----	----	1656.2	
基 礎 材	B1		m3	17.2	19.1	19.1	37.0	43.3	135.7	
基 礎 杭	場所打ちコンクリート杭（機械掘削、φ1.200）		m	234.0	----	----	187.5	----	421.5	
	場所打ちコンクリート杭（人力掘削、φ4.000）		m	----	60.0	60.0	----	----	120.0	
	埋設ライナープレート（φ4.000,t=2.7）		m	----	60.0	60.0	----	----	120.0	
	裏込めグラウト		m3	----	116.0	116.0	----	----	232.0	
コンクリート	A1-3		m3	297.7	1299.7	1177.2	967.2	798.2	4510.0	σck=30N/mm2
	B2-1		m3	206.2	----	----	----	716.0	922.3	σck=24N/mm2
	D1-1		m3	8.6	9.6	9.6	18.5	21.7	68.0	σck=18N/mm2
型 枠	C		m2	582.3	1257.0	1174.1	755.2	986.2	4775.8	
	D		m2	4.0	5.3	5.3	5.8	6.1	26.5	
	R		m2	----	13.1	13.1	13.1	----	39.3	
鉄 筋	A	D13	t	0.202	----	----	----	0.012	0.214	SD345 重ね継手
		D16～D25	t	8.671	133.293	129.832	61.772	12.010	345.578	〃 〃
		D29～D32	t	11.354	----	----	----	6.008	17.362	〃 〃
		D35	t	----	----	----	----	5.084	5.084	〃 〃
		D41	t	----	----	----	----	----	----	〃 〃
		計	t	20.427	133.293	129.832	61.772	23.114	368.438	〃 〃
	A1	D13	t	0.609	----	----	----	1.503	2.112	〃 〃
		D16～D25	t	13.525	0.411	0.411	0.520	14.574	29.441	〃 〃
		D29～D32	t	----	----	----	----	0.264	0.264	〃 〃
		D35	t	----	----	----	----	11.044	11.044	〃 〃
		計	t	14.134	0.411	0.411	0.520	27.385	42.861	〃 〃
	A2	D16～D25	t	----	0.112	0.112	----	----	0.224	SD490 重ね継手
		D29～D32	t	----	0.400	0.400	----	----	0.800	〃 〃
		D35	t	7.338	----	----	----	----	7.338	〃 〃
		D38	t	----	3.813	3.813	----	----	7.626	〃 〃
		計	t	7.338	4.325	4.325	----	----	15.988	〃 〃
	B	D16～D25	t	----	----	----	----	6.894 (140)	6.894 (140)	SD345 ﾒｶｴﾝ接 かっこ内は継手箇所
		D29～D32	t	1.290 (20)	----	----	----	5.712 (73)	7.002 (93)	〃 〃 〃
		D38	t					13.626 (178)	13.626 (178)	〃 〃 〃
		D41	t	----	----	----	----	12.879 (88)	12.879 (88)	〃 〃 〃
		計	t	1.290 (20)	----	----	----	39.111 (402)	40.401 (422)	〃 〃 〃
	B2	D16～D25	t	----	1.648 (41)	1.648 (41)	----	----	3.296 (82)	SD490 ﾒｶｴﾝ接 かっこ内は継手箇所
		D29～D32	t	----	8.586 (90)	8.586 (90)	13.341 (152)	----	30.513 (332)	〃 〃 〃
		D35	t	----	96.535 (898)	109.505 (1062)	7.436 (52)	10.203 (107)	223.781 (2119)	〃 〃 〃
		D38	t	----	17.595 (112)	17.595 (112)	66.474 (402)	----	101.664 (626)	〃 〃 〃
		D41	t	----	129.832 【672】	129.832 【672】	18.920 (100)	----	278.464 (1600)【1344】	〃 〃 〃
		計	t	----	256.297 (1741)【672】	267.167 (1300)【672】	107.071 (706)	10.203 (107)	640.738(3247)【1344】	SD490 機械式継手 かっこ内は継手箇所
	C	D16～D25	t	----	5.480 (2168)	4.941 (2594)	2.657 (1536)	----	13.078 (7298)	SD345 機械式鉄筋定着
		計	t	----	5.480 (2168)	4.941 (2594)	2.657 (1536)	----	13.078 (7298)	〃 〃
	Y	D13	t	0.132	----	----	0.275	----	0.407	SD345 重ね継手
		D16～D25	t	11.904	----	----	7.050	----	18.954	〃 〃
		D29～D32	t	13.788	----	----	----	----	13.788	〃 〃
		D41	t	----	----	----	52.425	----	52.425	〃 〃
		計	t	25.824	----	----	59.750	----	85.574	〃 〃

注）（ ）：ガス圧接継手を示す。
【 】：機械式継手を示す。
［ ］：機械式定着体を示す。

道東自動車道 新得工事	
図面の種類	数量総括表 広内川橋（下り線）
縮尺	図番 1／108
設計事務所名	中日コンサルタント株式会社
施工会社名	
事業所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所

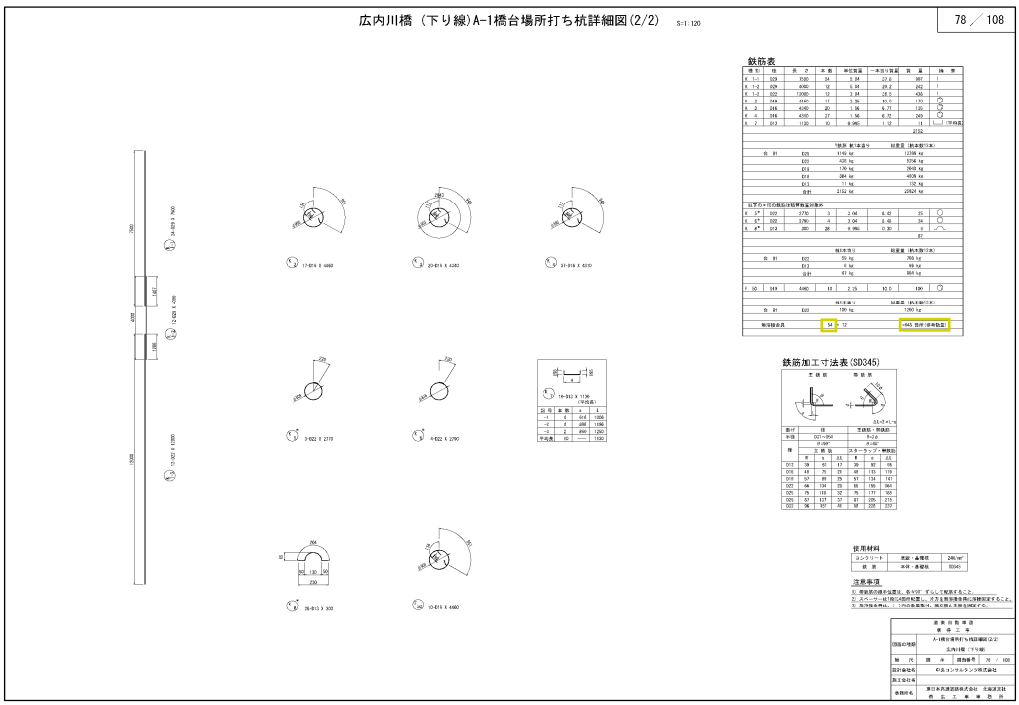
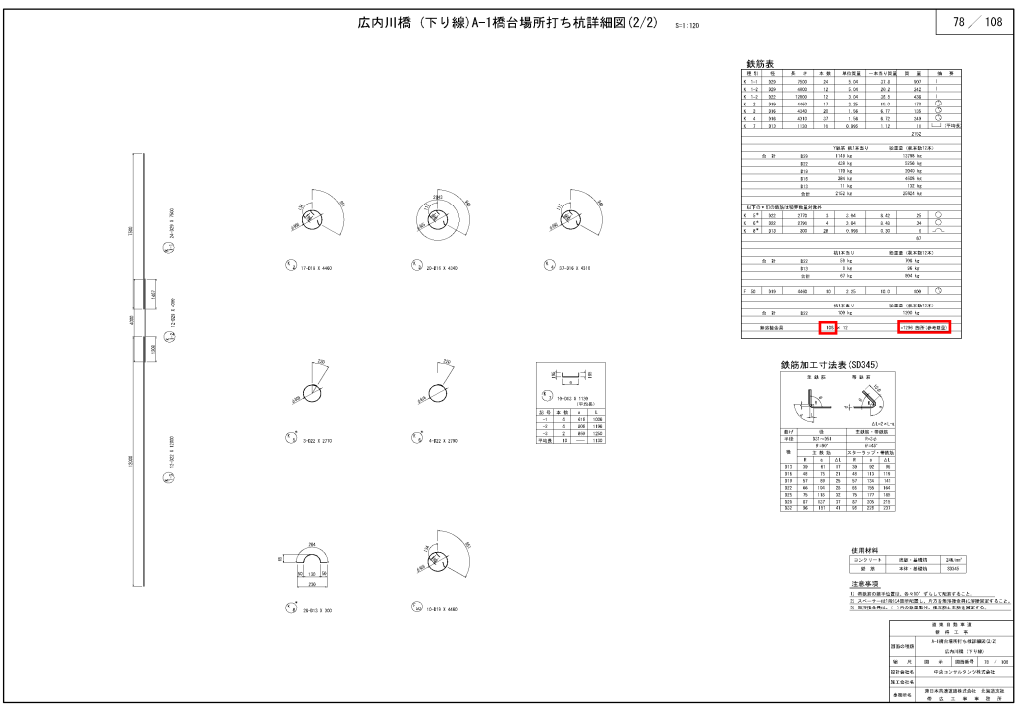
正誤表(17)

工事件名） 道東自動車道　新得工事

修正箇所		正誤区分
設計図 橋梁下部工 （広内川橋） （77/108）	誤	
	正	

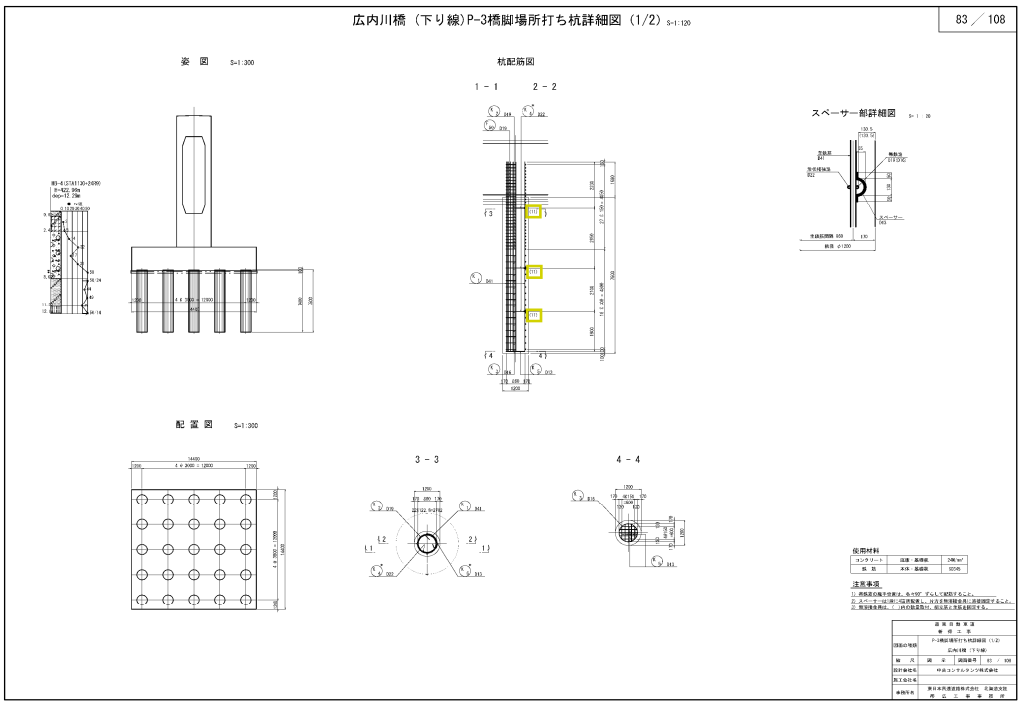
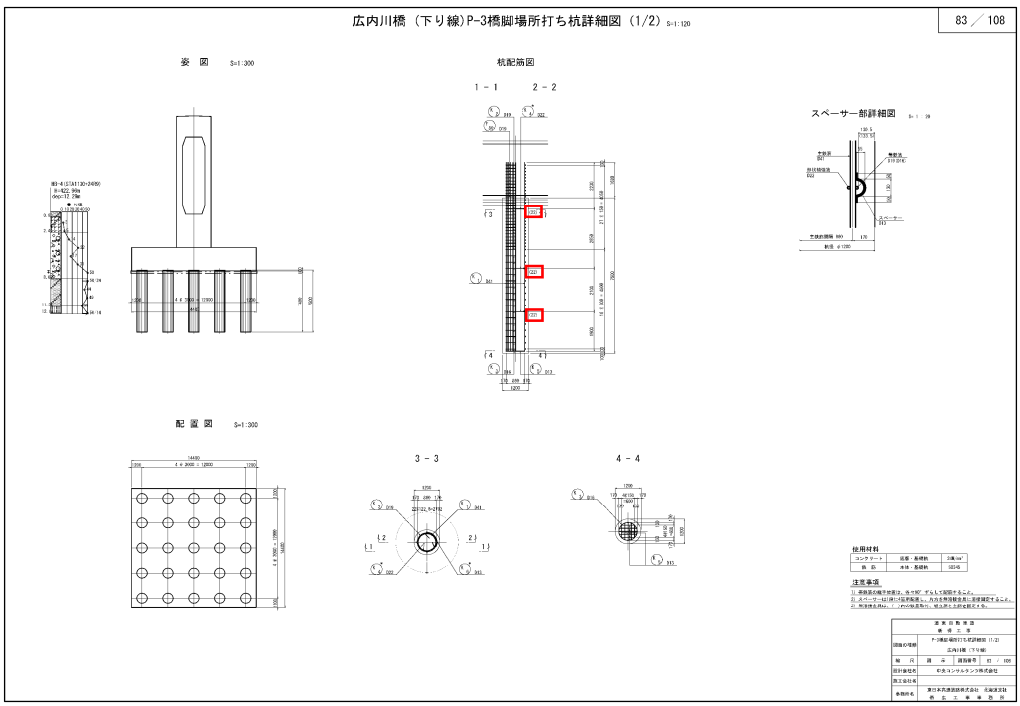
正誤表(18)

工事件名） 道東自動車道　新得工事

修正箇所		正誤区分
設計図 橋梁下部工 （広内川橋） （78/108）	誤	
	正	

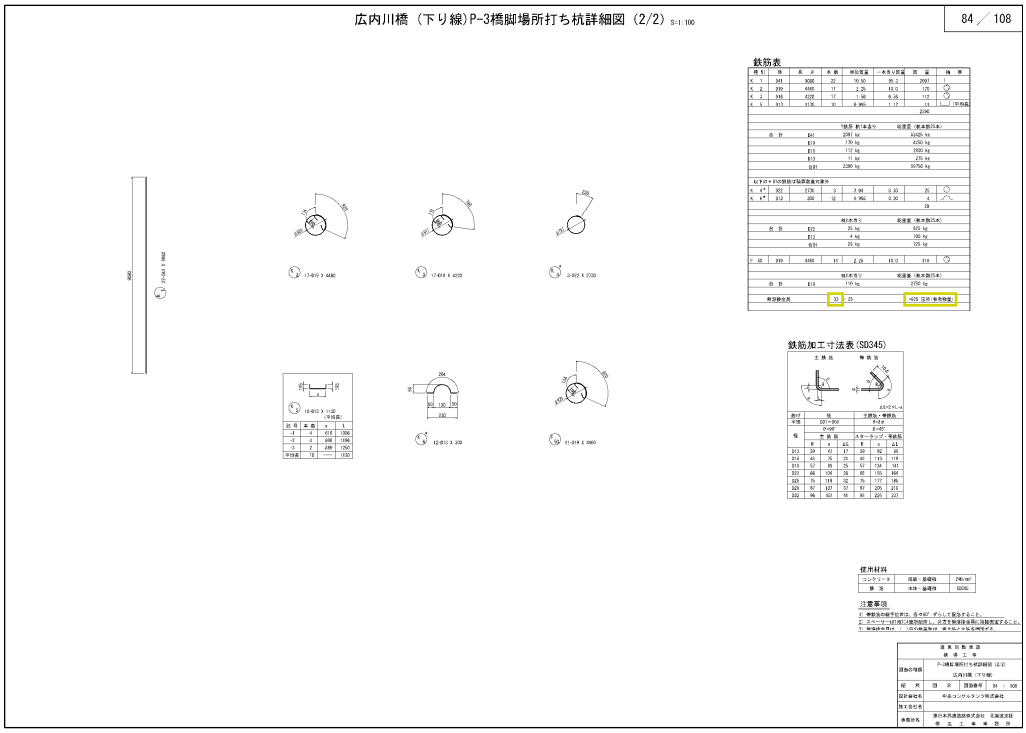
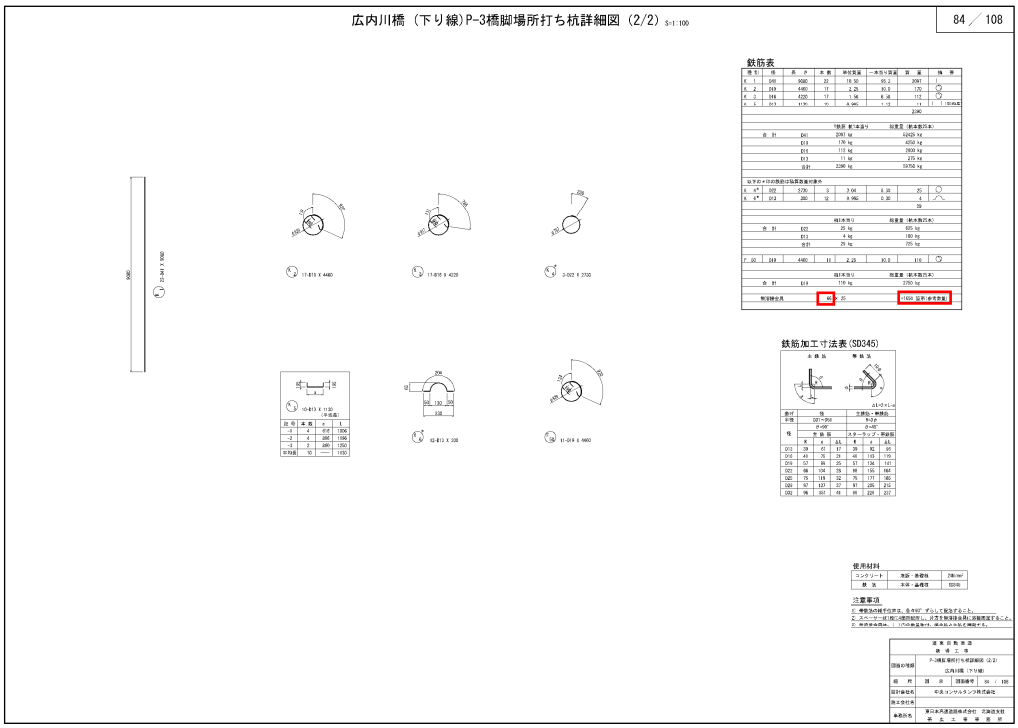
正誤表(19)

工事件名） 道東自動車道　新得工事

修正箇所		正誤区分
設計図 橋梁下部工 （広内川橋） （83/108）	誤	
	正	

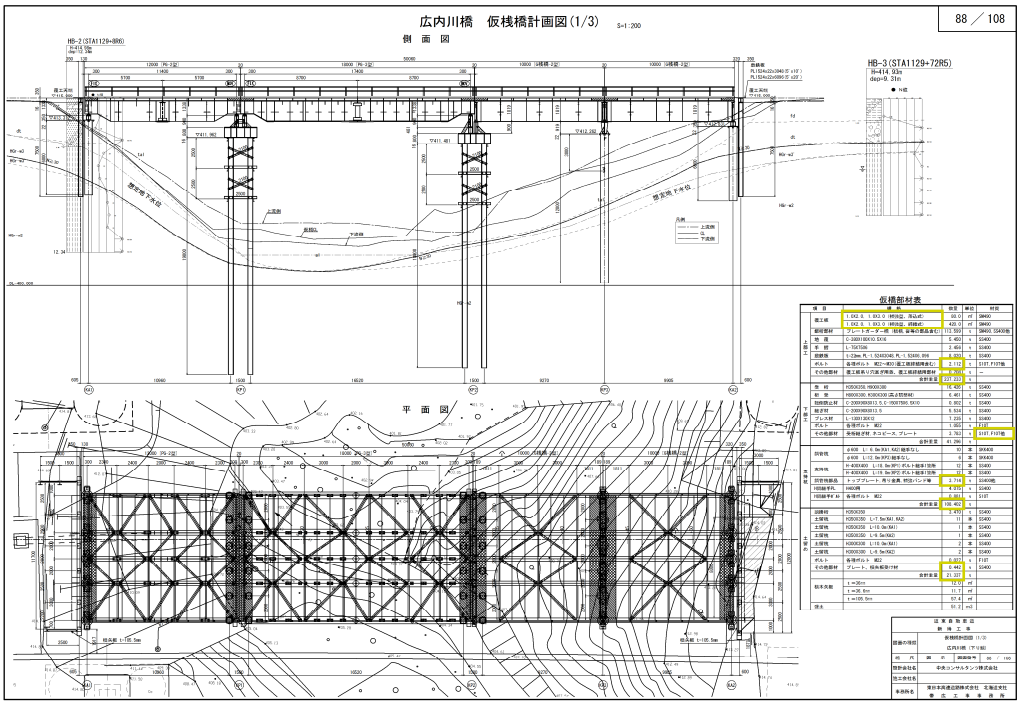
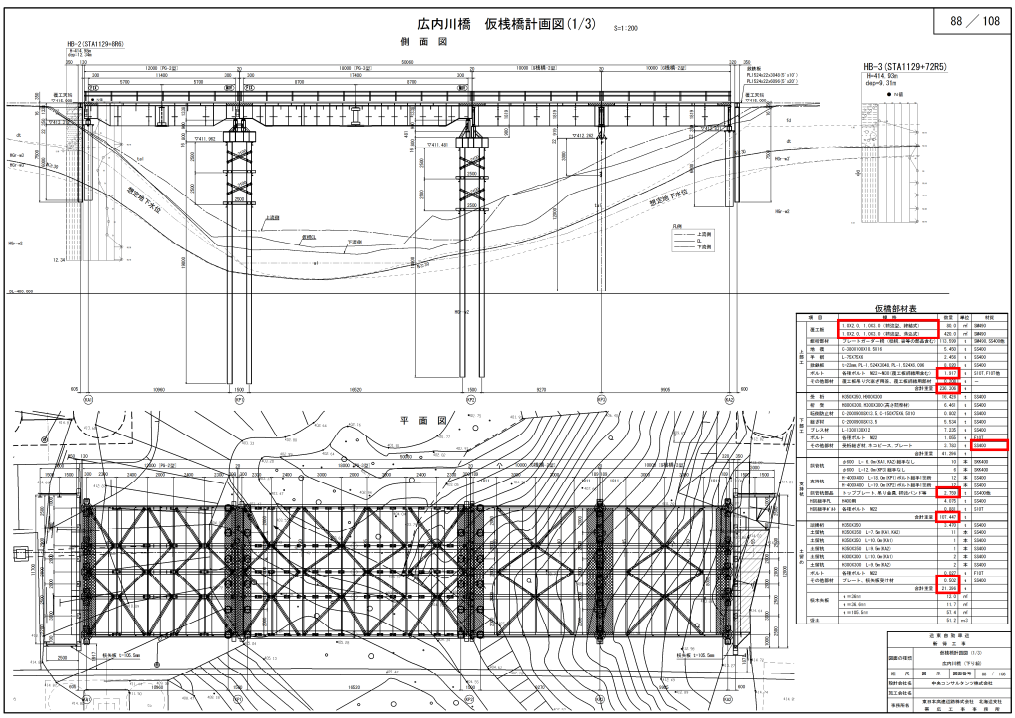
正誤表(20)

工事件名） 道東自動車道　新得工事

修正箇所		正誤区分
設計図 橋梁下部工 （広内川橋） （84/108）	誤	
	正	

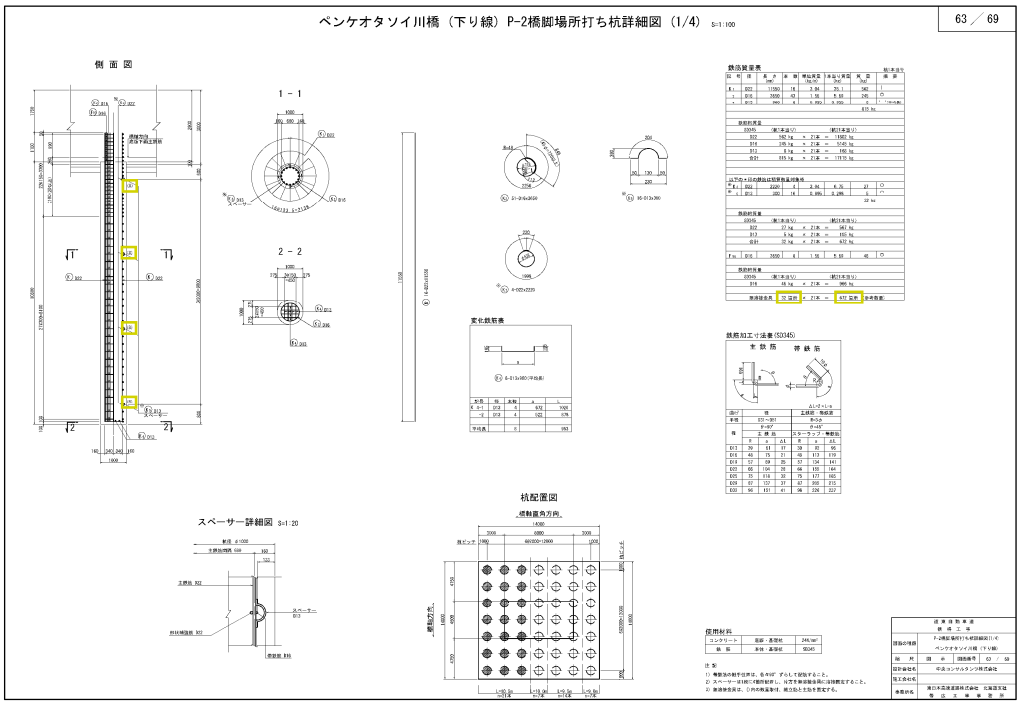
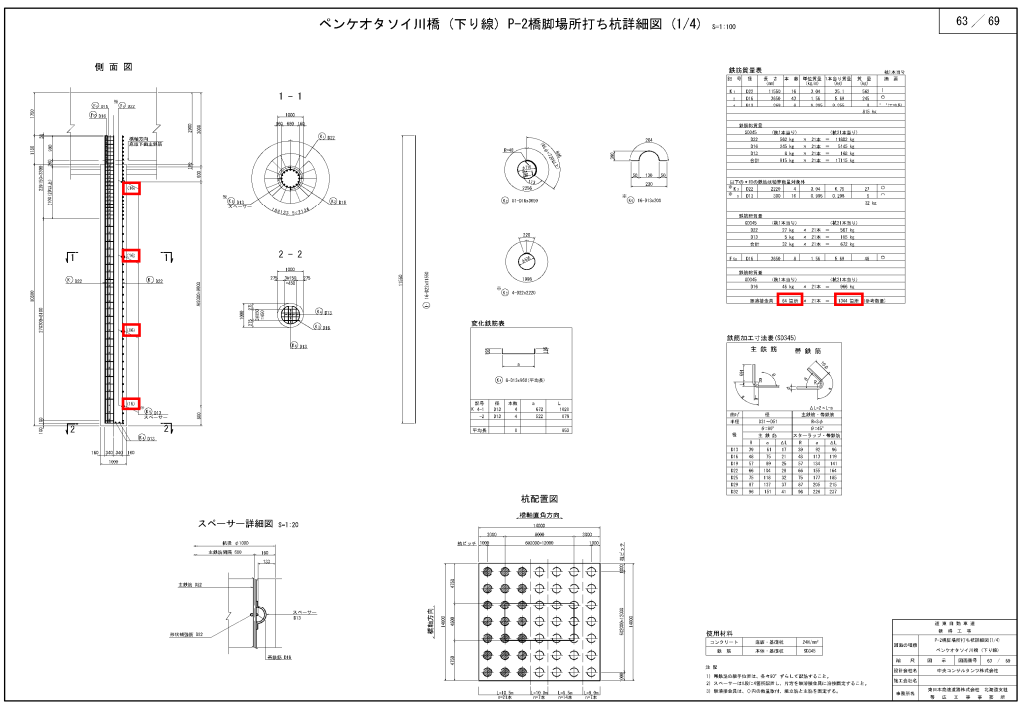
正誤表(21)

工事件名） 道東自動車道　新得工事

修正箇所		正誤区分
設計図 橋梁下部工 （広内川橋） （88/108）	誤	
	正	

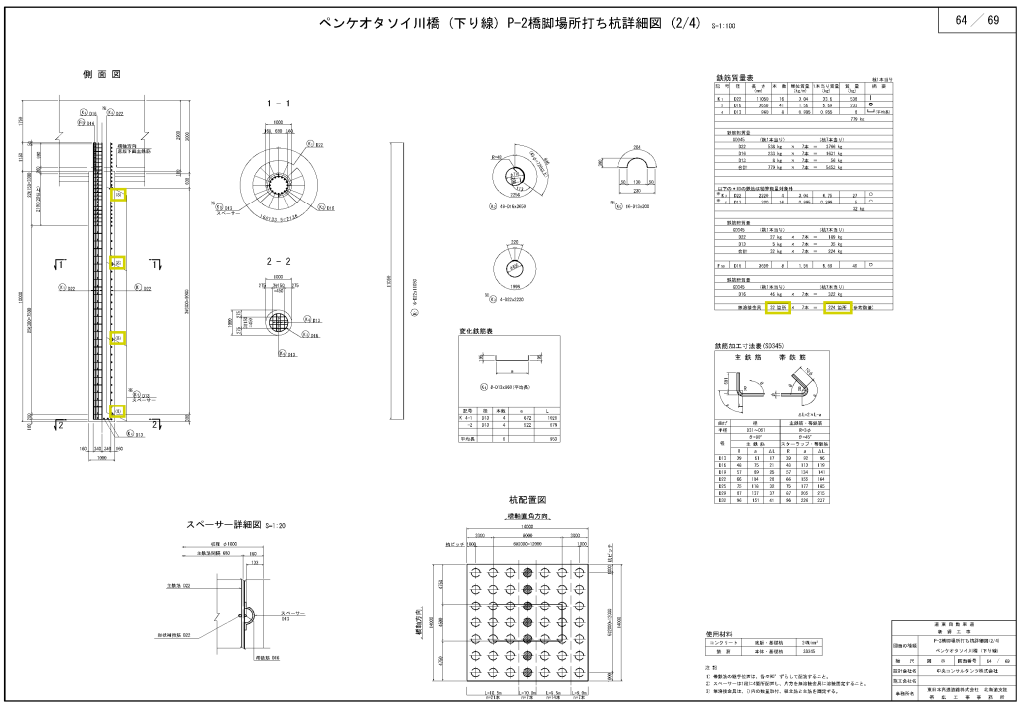
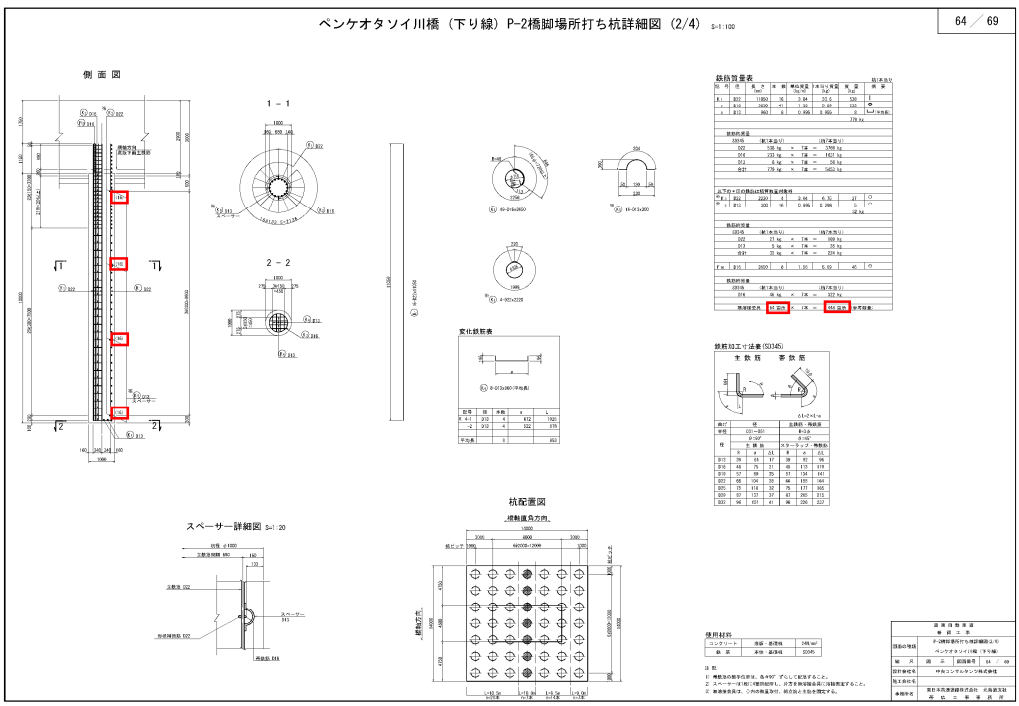
正誤表(22)

工事件名） 道東自動車道　新得工事

修正箇所		正誤区分
設計図 橋梁下部工 （ペンケオタソイ川橋） （63/69）	誤	
	正	

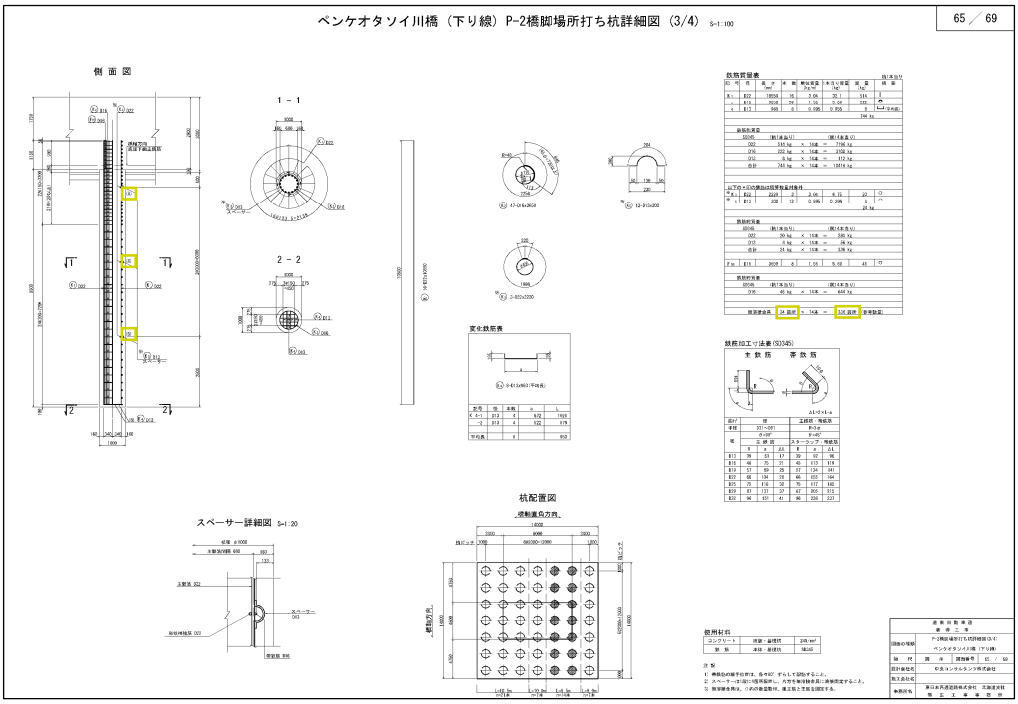
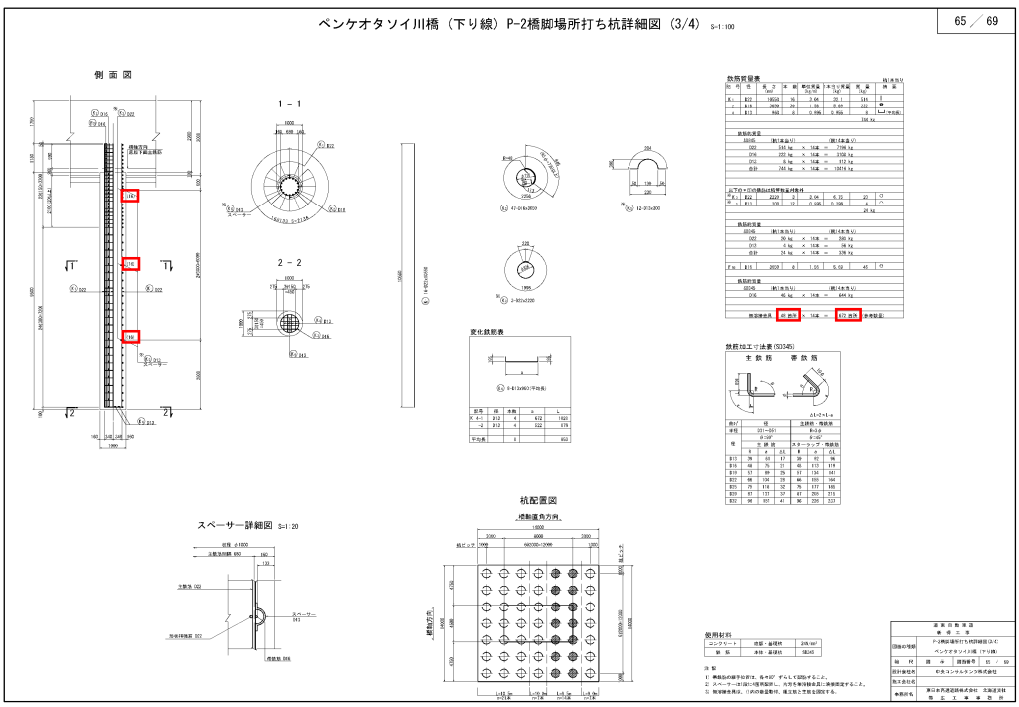
正誤表(23)

工事件名） 道東自動車道　新得工事

修正箇所		正誤区分
設計図 橋梁下部工 （ペンケオタソイ川橋） （64/69）	誤	
	正	

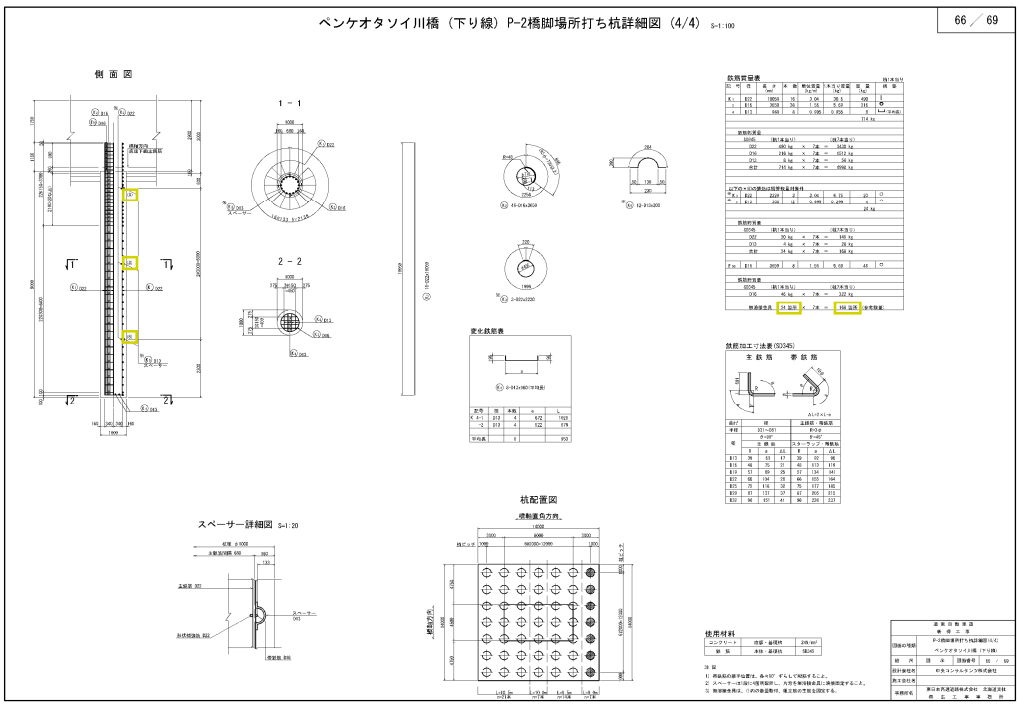
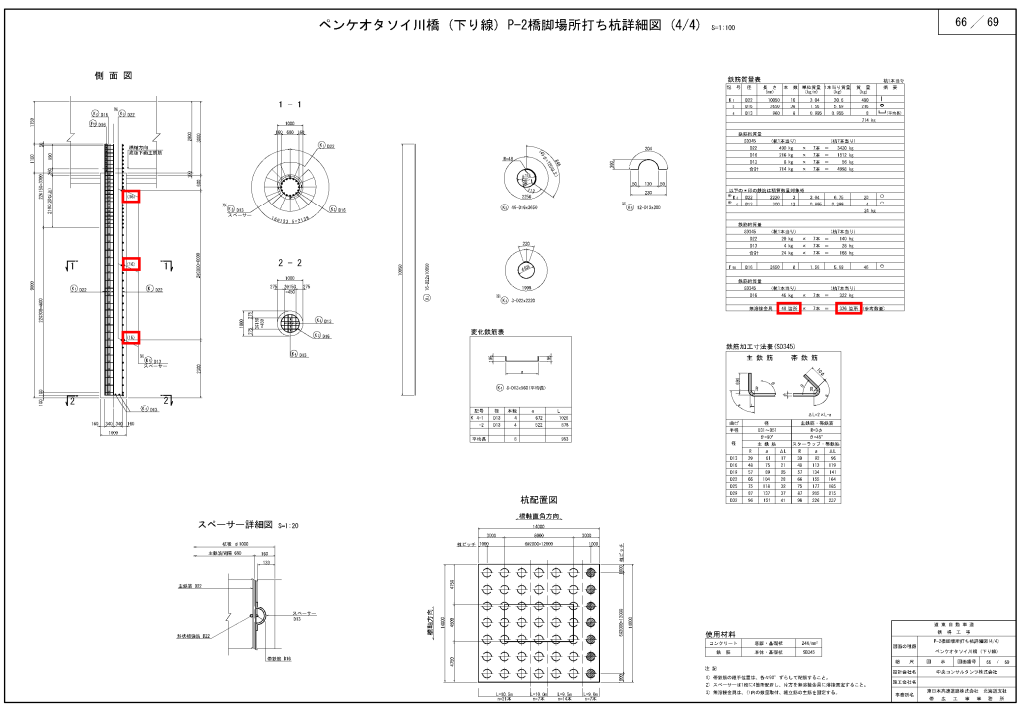
正誤表(24)

工事件名） 道東自動車道　新得工事

修正箇所		正誤区分
設計図 橋梁下部工 （ペンケオタソイ川橋） （65/69）	誤	
	正	

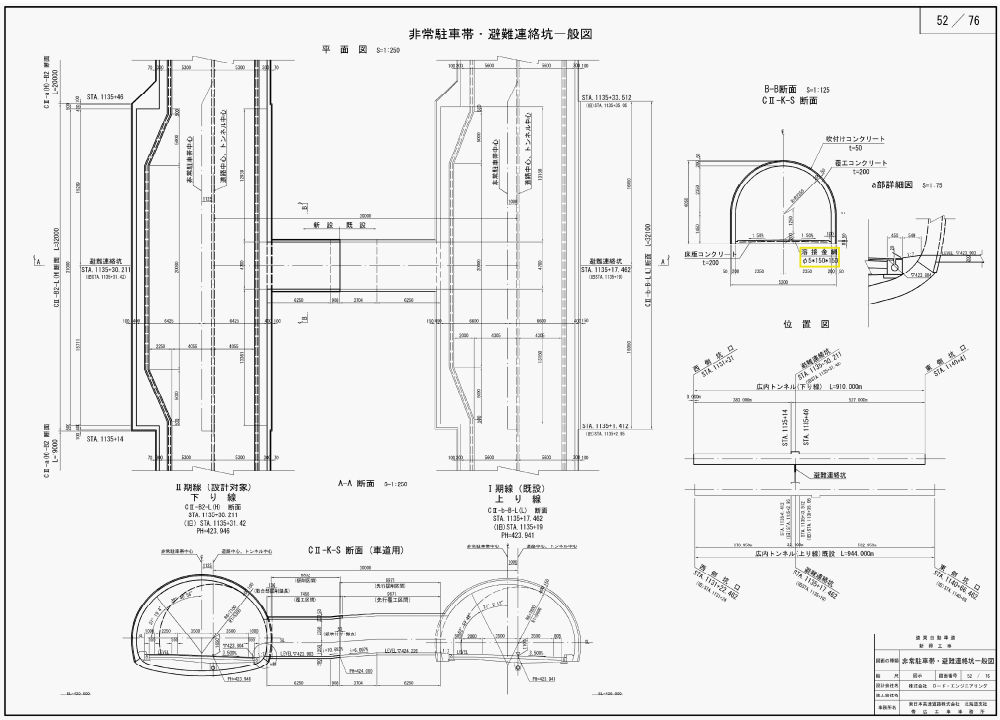
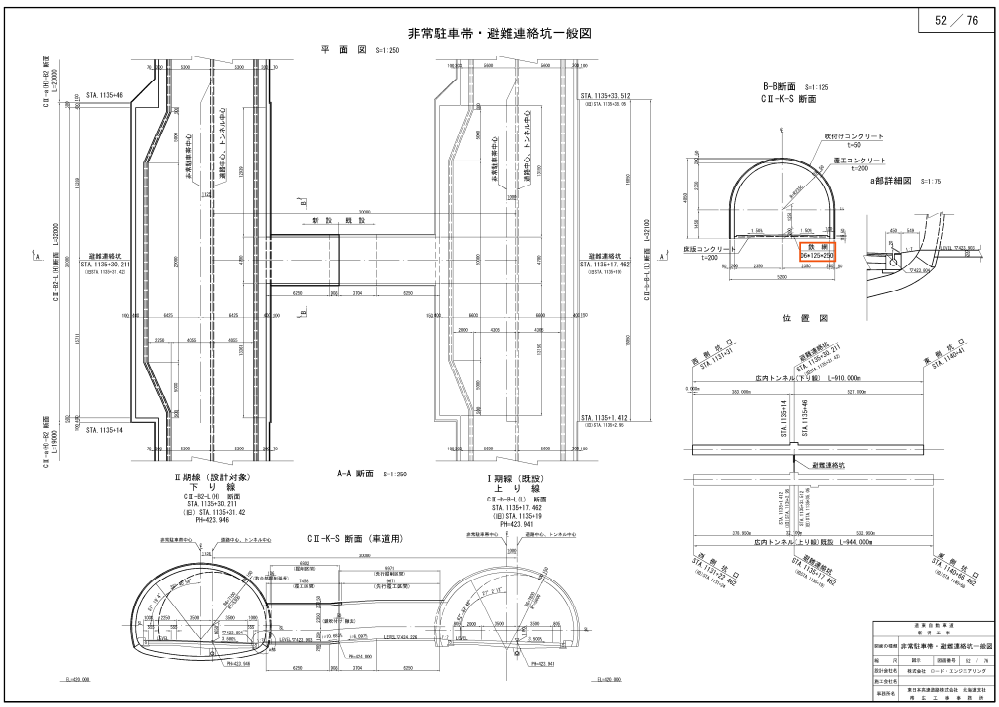
正誤表(25)

工事件名） 道東自動車道　新得工事

修正箇所		正誤区分
設計図 橋梁下部工 （ペンケオタソイ川橋） （66/69）	誤	
	正	

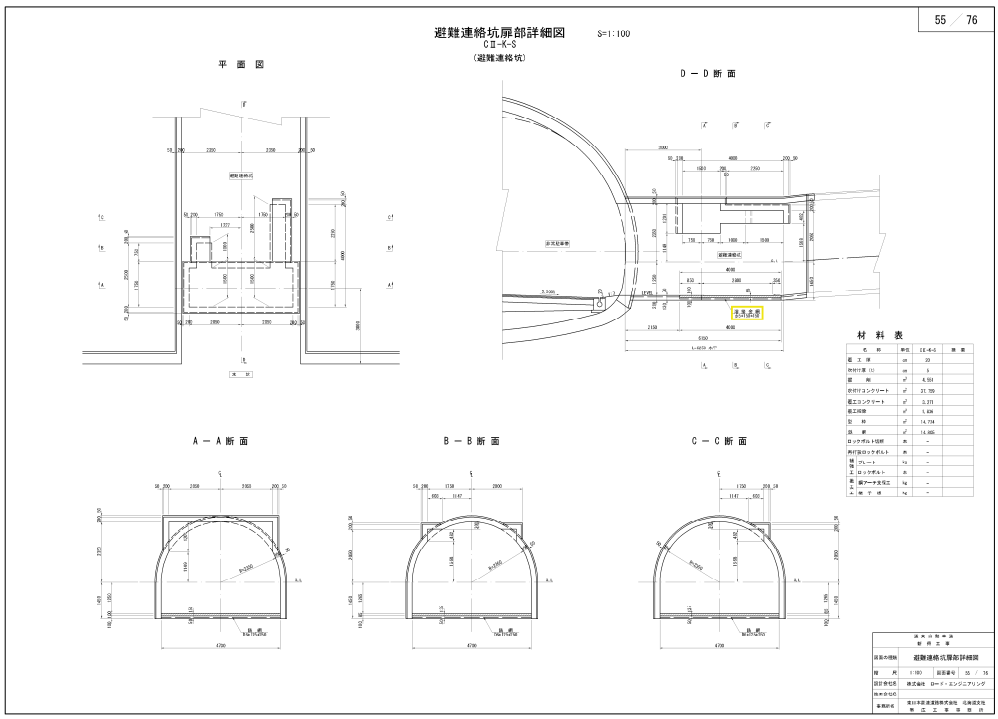
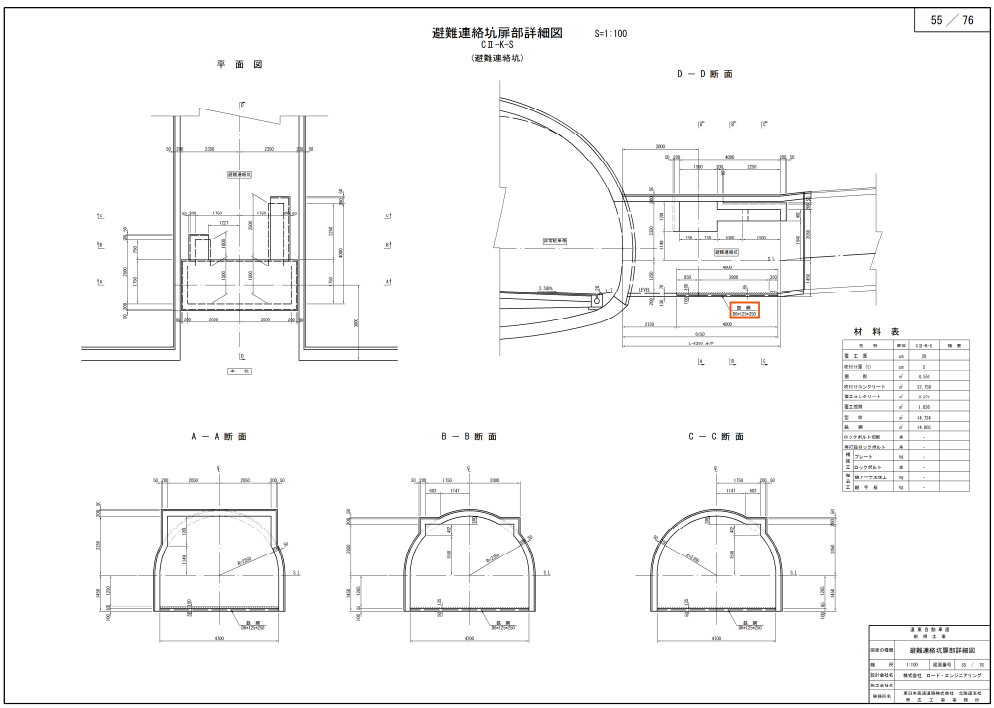
正誤表(26)

工事件名） 道東自動車道　新得工事

修正箇所		正誤区分
設計図 広内トンネル （52/76）	誤	
	正	

正誤表(27)

工事件名） 道東自動車道　新得工事

修正箇所		正誤区分
設計図 広内トンネル （55/76）	誤	
	正	

正誤表(28)

工事件名） 道東自動車道　新得工事

<table>
<tr><th colspan="2">修正箇所</th><th>正誤区分</th></tr>
<tr><td rowspan="2">設計図
附帯工・雑工
（表紙）</td><td>誤</td><td>道　東　自　動　車　道
新　　得　　工　　事

参　考　図

令和３年　８月

東日本高速道路株式会社　北海道支社
帯 広 工 事 事 務 所</td></tr>
<tr><td>正</td><td>道　東　自　動　車　道
新　　得　　工　　事

附　帯　工　・　雑　工

令和３年　８月

東日本高速道路株式会社　北海道支社
帯 広 工 事 事 務 所</td></tr>
</table>